

調査項目解説（水産物）

「商品」 一般的な魚種名をひらがなで記載してください。特定のブランド名等がある場合は（ ）で記載してください。

「要件への適合性」

「認証種類」 MEL、MSC、AEL、ASC の別を記載ください（複数の認証等を取得している場合は複数の認証等を記載してください）。申請中又は申請の予定がある場合は認証種類の後に（〇年〇月申請（申請予定））と記載してください。

「資源管理計画または漁場改善計画の有無」 資源管理計画又は漁場改善計画に基づいている場合には〇を記載してください。

（注）資源管理に関する計画又は漁場環境の維持・改善に関する計画であって、行政機関による確認を受けたもの、かつ、作業者の労働安全を確保するため関係法令に照らして適切な措置が講じられていること。なお、詳細は、大会組織委員会が公表した「持続可能性に配慮した水産物の調達基準 解説」をご参照ください。

「供給元生産者等」 商品の生産者を記載してください。例えば「〇〇水産」、「〇〇漁協」などの他、個人の生産者の方は「農水太郎」などの個人名を記載してください。

「生産地」 水揚げ地や加工生産している場所の所在地を市町村名まで記載してください。複数の市町村で水揚げされている場合は複数の市町村名を記載してください。

「供給可能量」 東京大会の期間中（2020年7月中旬～9月上旬）に大会向けに供給可能な（仕向けられる）商品の量（kg）を記載してください。

「供給可能期間」 「供給可能量」の期間別の内訳量（kg）を記載してください。

「最低受注単位」 受注可能となる最低量（ロット）を記載してください。例）「〇〇kg」、「〇〇箱（〇〇kg入り）」。

「保存・輸送方法」 常温、チルド、冷凍、加工のうち、独自で対応可能なものに「〇」を記載してください。委託加工で提供できる場合は「△」を記載してください。また、この他に対応可能な加工方法や対応可能なカットの種類などの追加で記載できる情報のほか、委託加工があれば、備考に詳細を記載してください。

「送料」 供給価格に加え別途送料が発生する場合は、最低量（ロット）発送時の生産地から東京23区までの概ねの送料を、配送拠点がある場合は配送拠点から東京23区までの送料を記載するとともに「（配送拠点）」と分かるように記載してください。

「集荷施設等」 主に利用している集荷施設や配送センター、貯蔵倉庫、加工施設などがある場合はその旨記載してください。例）「〇〇県〇〇配送センター」、「〇〇市場内〇〇」など。

「都道府県担当者」 飲食提供事業者等が相談する際の連絡先を記載してください。

「問い合わせ先」 飲食提供事業者等が相談、発注する際の連絡先を記載してください。問い合わせ部署、担当者名、電話番号などを記載してください。

「備考」 上記以外に留意点やPR事項、保管や配送上の注意事項等があれば記載してください。例）流通段階で冷凍すれば周年供給可能など。

また、希望小売価格（消費税込）を参考情報として記載ください。それ以外の価格を記載する場合はカッコ書きで、解説をしてください（卸売価格等）。

*共通リストの記入に際しては、同一商品毎に複数の供給可能生産者または販売者がある場合は、供給可能量を合算してまとめた上でご記入いただくことも可能です。
（「供給可能量」の期間別の内訳も同じ。）その際、「問い合わせ先」が複数となる場合は、問い合わせ先欄には、その対応が分かるようにすべて記入してください。